

外資系企業等向け インダストリアルツアー2022 ～ 開催報告 ～

2023年3月

主催：九州経済国際化推進機構、一般社団法人 九州経済連合会、九州経済産業局、北九州市

協力：独立行政法人 日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター・北九州貿易情報センター

1. 開催概要

- ◇カーボンニュートラル（CN）に関わる取り組みをはじめとする環境関連分野において、九州地域への外資系企業の誘致や協業・連携を促進するため、在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府関係機関等を対象として、海外企業との協業・連携を指向している九州企業の現地視察等を行う「外資系企業等向けインダストリアルツアー」を開催。
- ◇今回のツアーでは、北九州地域において環境関連分野を中心とした企業等を訪問し、事業内容の紹介、施設見学、意見交換等を実施。在日外資系企業や領事館等から計31名（事務局含む）が参加。現地視察では活発な意見交換がなされる等、協業・連携に向けた関係構築を図った。

- （1）日 時 : 2023年2月16日（木）8：40～18:00
- （2）視察先 : 福岡のCNに係わる事業等に取り組む企業等
- （3）主 催 : 九州経済国際化推進機構、(一社)九州経済連合会、九州経済産業局、北九州市
- （4）協 力 : (独)日本貿易振興機構 福岡貿易情報センター・北九州貿易情報センター
- （5）参加対象 : 在日外資系企業、駐日外国公館、外国政府等関係機関 他 31名（事務局含む）
- （6）移動方法 : 借上げバス
- （7）参加費 : 無 料

2. スケジュール

【2023年2月16日（木）】

- | | |
|-------------|--|
| 8:40 | 福岡合同庁舎 発 |
| 10:10～11:45 | 株式会社 安川電機 視察 |
| 12:15～12:45 | 旧古河鋳業若松ビル（昼食） |
| 13:00～14:40 | 事業概要説明（エコタウンセンター会議室）
①北九州市（エコタウン事業及びグリーンエネルギーポートひびき事業）
②株式会社 リサイクルテック
③株式会社 アステック入江
④株式会社 EVモーターズ・ジャパン |
| 14:40～15:40 | 視察
①響灘風力発電施設（EVモーターズ・ジャパンのEVバスに試乗して移動）
②株式会社 リサイクルテック 視察
③株式会社 アステック入江 視察 |
| 18:00 | 福岡合同庁舎 着 |

3. 結果概要

(1) 株式会社 安川電機

(本社：北九州市八幡西区黒崎城石 2 - 1)

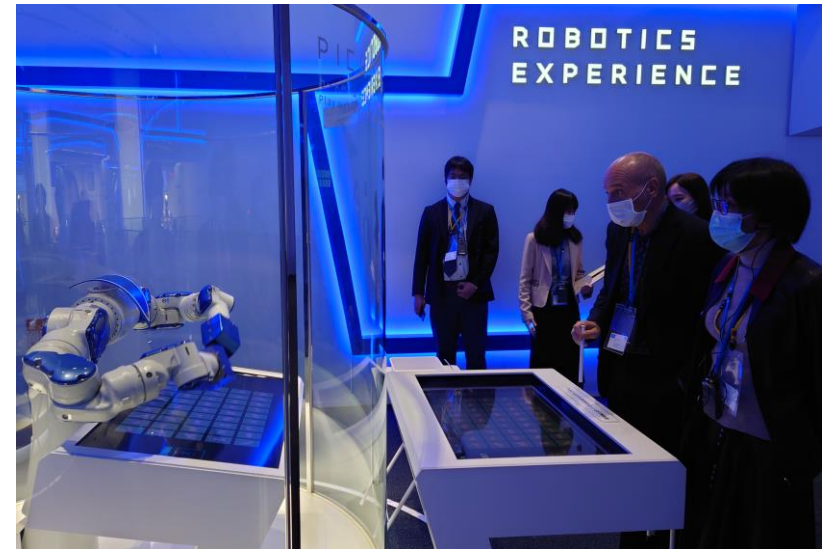
同社は、産業用ロボットなどメカトロニクス製品の製造を行うメーカー。同社グループでは2050年までにCO2排出量を実質ゼロにする目標を設定。

本ツアーでは、同社の取組紹介や意見交換、安川電機みらい館（見学施設）や、産業用ロボット組立工場の視察等を実施。

参加者からは、みらい館に加え、人とロボットが協同でロボットを組み立てる先端的な工場の視察等を踏まえ、同社が持つ先進的な技術を称賛する声も多く聞かれた。



(安川電機 取組紹介)



(安川電機みらい館 視察)

3. 結果概要

(2) 北九州エコタウン

(エコタウンセンター：北九州市若松区向洋町10-20)

本ツアーでは、北九州市で取り組まれている「グリーンエネルギーポートひびき事業（同市響灘地区で進められている風力発電等のエネルギー関連産業の集積を目指す取組）」等のカーボンニュートラル関連の紹介や意見交換、風力発電施設の視察等を実施。

参加者からは、北九州市の取組について理解を深めることができたという声とともに、洋上風力発電については、参加者の母国でも建設が進んでおり、今後の協業・連携を期待するとの声も聞かれた。



(北九州市 取組紹介)



(風力発電設備 視察)

3. 結果概要

(3) 株式会社 リサイクルテック

(PVR工場：北九州市若松区向洋町10-31)

同社は、使用済み廃太陽光パネルリサイクル等の事業を展開。

本ツアーでは、同社の取組紹介や意見交換、2023年3月より稼働する新工場の視察等を実施。

参加者からは、同社との協業・連携や、リサイクル工程に関する質問が多く出される等、同社が持つ技術への関心が高く、同社の取組の海外展開を期待する声も多く聞かれた。



(リサイクルテック 取組紹介)



(リサイクルテック 新工場)

3. 結果概要

(4) 株式会社 アステック入江

(響工場：北九州市若松区向洋町10-83)

同社は、PCやサーバー内部に組み込まれている廃電子基板から貴金属を分離回収し、レアメタル及びベースメタルを抽出して再資源化を図る事業を展開。

本ツアーでは、同社の取組紹介や意見交換、工場の視察等を実施。

参加者からは、廃電子基板からAIの画像診断を用いた処理技術に高い関心が寄せられ、同社が持つリサイクル施設の海外への輸出等を期待する声が多く聞かれた。



(アステック入江 取組紹介)



(アステック入江 視察)

3. 結果概要

(5) 株式会社 EVモーターズ・ジャパン

(北九州市若松区白山1-18-7)

同社は、商用EV車両（バス、物流車等）の製造・販売事業を展開。2023年秋、北九州市に、ゼロエミッション社会の実現をコンセプトとした商用EVの工場を建設予定。

本ツアーでは、同社の取組紹介や意見交換、同社のEVバスの試乗等を実施。

EVバスに試乗頂くことで、静音性と加速性など同社の高い技術を体感して頂くとともに、参加者の母国で商用自動車販売でトップシェアを持つ企業との協業を進めたいとのコメントも聞かれた。



(EVモーターズ・ジャパン 取組紹介)



(EVモーターズ・ジャパンのEVバス)

(参考) インダストリアルツアー行程図

